

毎週水曜日掲載

週刊 DAILY SPORTS デイリースポーツ

夏の甲子園より長い歴史

100年続く伝統

伝統の一戦を前に集合写真に納まる神戸、兵庫ナインら



100年続く伝統

100年続く伝統

●定期戦(10日・神戸)
神戸
0 1 0 0 1 0 0 1
0 0 5 0 0 1 0 X
兵庫
0 0 1 0 0 0 1
0 0 1 0 0 1 0
(神) 松井、竹内、三木
兵庫 森川、高橋、中田
兵庫 大下
神戸 草原、元山、大下
神戸 谷口

応援にも熱

1世紀の間、一投一打

に熱狂する定期戦が神戸

と兵庫の間に繰り返され

ている。時代の変遷を経

ても、白球を追う姿は1

00年以前の先輩たち

の姿を変わらない。全校

の応援を背負い、母校の名譽

のために勝利を狙う。

選手権大会へ向け大きな

変化

も

◆定期戦(10日・神戸)
神戸
0 1 0 0 1 0 0 1
0 0 5 0 0 1 0 X
兵庫
0 0 1 0 0 0 1
0 0 1 0 0 1 0
(神) 松井、竹内、三木
兵庫 森川、高橋、中田
兵庫 大下
神戸 草原、元山、大下
神戸 谷口

彈みにもなるのだ。

昨年、一昨年は雨天中

止。今年の3年生にとっては入学以来、最初で最

後の定期戦となった。結

果は兵庫が木谷樹(ひ

ろき)主将(3年)のラ

ンニンク本塁打などで7

点を奪い快勝した。

「最

初は緊張したが、始ま

てみたらワクワクして樂

しめた。応援のみんなの

力で勝った」と充実感を

漂わせた。

定期戦が始まつ

た時期は明確では

ないが、兵庫の野球部

部創部間もない1908年、兄弟

校である神戸との試合が

組まれてきた。大

正初期の13年ごろ

から全校応援によ

る定期戦(いう形とな

る定期戦)が開催さ

れた。『扇港(神戸)の早

慶戦』と呼ばれる試合の

歴史は15年に始まった夏

の甲子園第1回大会(当

時は豊中球場より古い。

現在は春と秋の定期戦

の一環として行われば

かの運動部ごとに競技

が行われる。春は野球

ほかバレーボール、柔道などの

対抗戦が同時に行われ

る。春は野球を決める

後、野球が雌雄を決する

が行われる。この応援

校へ赴任したばかりの鍋

城義人監督(45)は「僕が高

校ラン姿の応援団が工

作を送り、吹奏楽の演

奏が向こうで

騒ぎになつたため以後20

年間、定期戦が中止された

中でプレーする事には

(3年)は「日ごろの練

習の成果を全校生徒見

し続けている兵庫県有数の伝統校、神戸と兵庫

兄弟校である2校は、夏の選手権大会より長い

100年近くの歴史を持つ定期戦を行つてい

る。1908年、神戸一中(現神戸)と神戸二

中(現兵庫)の間で行われた練習試合が起源だ。

両チームが母校の名前をかけて眞剣勝負をする

神戸の早慶戦』が今月10日、3年ぶりに行わ

れ、兵庫が7ー3で勝利。伝統に新たなベーブ

を刻んだ。

神戸vs兵庫 定期戦

神戸の生徒たち

兵庫の生徒たち

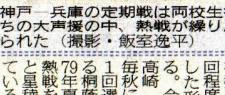
神戸の生徒たち

兵庫の生徒たち

神戸の生徒たち

兵庫の生徒たち

扇港の早慶戦



ウドの生徒たち

兵庫の生徒たち

ウドの生徒たち

兵庫の生徒たち